

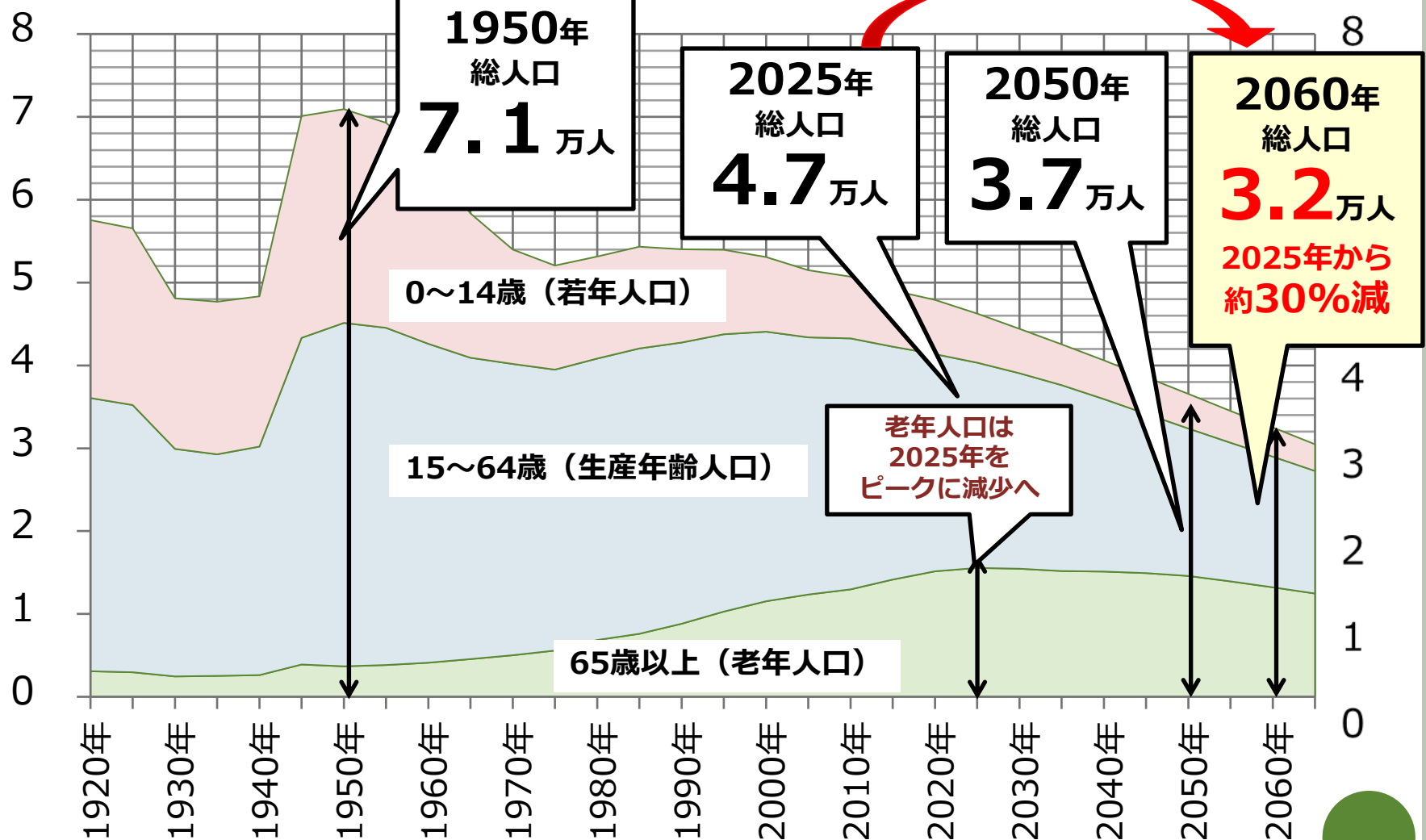
武雄市人口ビジョン

- ・ 武雄市人口ビジョン（資料編）Ver.3.0
2025年（令和7年）3月改訂より抜粋
- ・ Ver.3.0に2024及び2025年の数値を追加（P2）

武雄市企画部企画政策課

総人口、年齢3区分別人口の推移と将来推計

(万人)

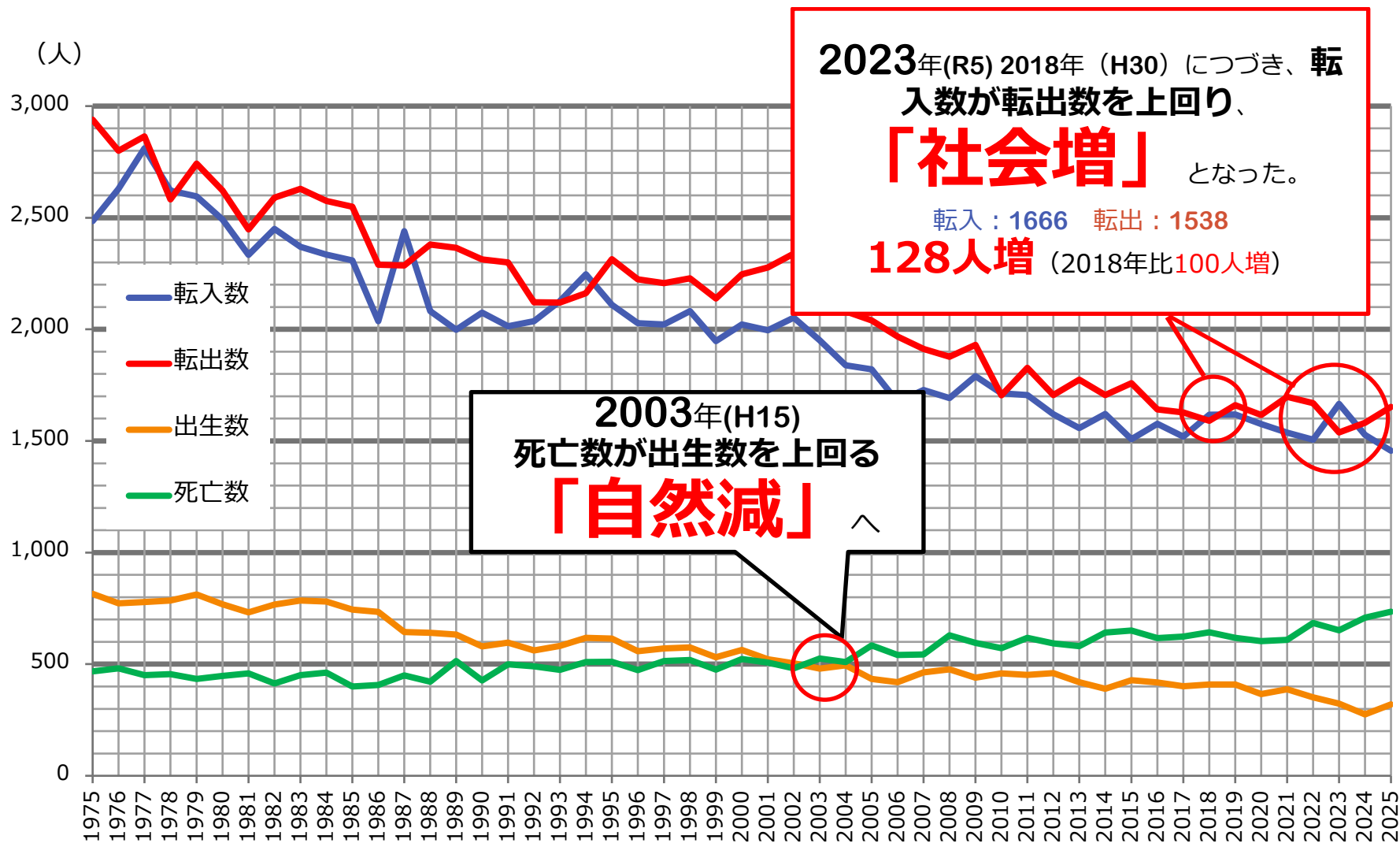


(出典)「国勢調査(1920(大正9年)~2020(令和2年))」(総務省)

(注) 2025年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供データ(社人研推計準拠)から計上

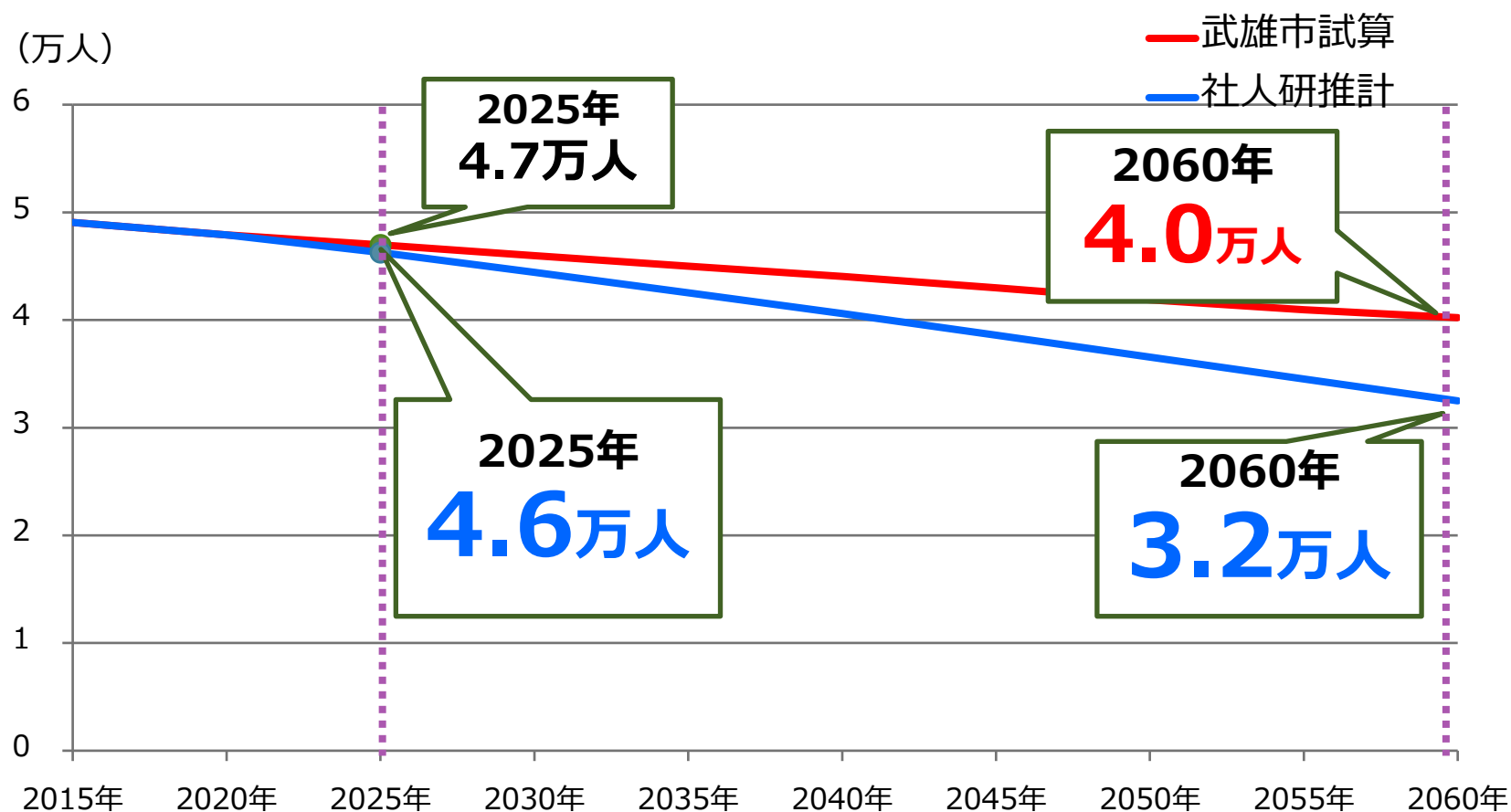
※全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計

出生・死亡数、転入・転出数の推移



(出典) 「佐賀県統計年鑑」(佐賀県)を基に武雄市作成
 ※2023年は佐賀県人口移動調査第5表を参照

将来人口の目標（市全体の総人口）



（出典）

2025年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供データ（国立社会保障・人口問題研究所推計準拠）から計上

※全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計

（武雄市試算）

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料を基に武雄市試算

※合計特殊出生率が2030年に1.90、2035年に2.07（人口置換水準）となると仮定し、人口移動の純移動率は2040年までは社人研の人口推計の1/2、2045までは1/4、それ以降は等しく推移した場合として推計している。

Ver.3.0改訂

☆

第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

概要版

(R7～11年度)

政策の柱

まち・ひと・しごと創生法に基づき、本市の「まち・ひと・しごとの創生」に向けた目標、施策の基本的方向、具体的な施策をとりまとめた計画



基本的視点

今後ある程度の少子高齢化及び人口減少は避けられないことを前提に、人口、経済、地域社会の課題解決及び地域活性化に対して一体的に取り組む。



新たに重視する視点

(1) 市民総活躍

高齢者、障がい者等の生きがい創出

(2) 女性・若者目線

女性や若者が魅力を感じるまちづくり

(3) 多文化共生

異なる文化の理解・尊重

(4) 地域特性を活かしたまちづくり

持続可能な地域コミュニティの実現

(5) 下位計画との連携強化

一貫性を持った政策体系の構築

あるものを活かして新たな挑戦を生み出す
「西九州のハブ都市」の推進

基幹事業

①水と共に生きるまちをつくる治水対策事業

②みんなで育てる文化のまちづくり事業

基本目標

①守る～安心して暮らせるまち～

- 治水対策
- 健康・生きがいづくり推進
- 地域防災力向上
- 暮らしやすい住環境整備

指標	基準値	目標値
住みやすいと回答した人の割合	71.8% (R5年度)	80.0% (R11年度)

②稼ぐ～働きがいのあるまち～

- 企業誘致推進
- 中小企業・創業支援
- 柔軟な働き方の推進
- 農林業の振興

指標	基準値	目標値
就職件数	1,746人 (R5年度)	2,000人 (R11年度)

③育む～成長を支えるまち～

- 文化・スポーツ振興
- 学校誘致推進
- 多様な学びの支援
- 子育て・家庭支援

指標	基準値	目標値
年少人口率	13.05% (R5年度)	13.30% (R11年度)

④彩る～交流しにぎわうまち～

- 交流人口の増加
- 効果的な情報発信
- 男女共同参画推進
- 多文化共生の推進

指標	基準値	目標値
観光客数	153万人 (R5年度)	200万人 (R10年度)

⑤つなぐ～未来へ続くまち～

- 地域コミュニティ活性化
- 公共交通の整備
- 移住定住促進
- ゼロカーボン推進

指標	基準値	目標値
社会増減数	76人 (R5年度)	100人 (R7～11年度平均)

令和11年度目標

人口：46,000人

(国立社会保障・人口問題研究所推計44,794人)

市民総所得：10%アップ

(令和5年度市町村税課税状況等の調査 596億3198万9千円)

第3期武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本的視点

- 少子高齢化及び人口減少に
歯止めをかける取り組みの強化が必要
- 今後、少子高齢化及び人口減少は避けられないことを前提に、
効率的かつ効果的で持続可能な地域社会の構築のため、人口、経済、地域社会の課題解決、地域活性化に対して一体的に取り組むことが重要である。

政策の柱

あるものを活かして新たな挑戦を生み出す
「西九州のハブ都市」の推進

基幹事業

- 水と共に生きるまちをつくる治水対策事業
- みんなで育てる文化のまちづくり事業